

# Port of Hachinohe

No. 3  
Jan 2002

---Maritime & Trade Report---

- ガントリークレーン2基体制に
- 「八戸港セミナーin盛岡」2月開催
- 「八戸港セミナー」レポート
- 八戸市海外経済協力員レポート
- ジェトロ青森所長からのご挨拶
- 八戸輸入住宅促進協議会ニュースレター

## アジアからのギフトフェア

~Asian International Gift Fair~



## 輸入品展示商談会開催

2001年9月27日～30日、輸入品展示商談会「アジアからのギフトフェア」が八戸港ポートアイランドにある八戸港貿易センターで開催されました。

輸入品展示商談会は97年度から毎年開催されており、97年アセアン地域、98年北米地域、99年オーストラリア地域、2000年北米地域と、毎年対象地域を変えて開催しております。2001年は青森県にとって大きな貿易相手であるアジア地域を対象としたフェアを開催し、フィリピン、台湾、インドネシア等対象9カ国の衣類、アクセサリー、雑貨、家具等のサンプルが展示され、期間中はアジアの輸入品に関心を持つ県内業者や一般市民約2,400人が訪れました。

また、期間中は貿易に関する情報セミナーが開催されました。初日は「アセアン諸国の貿易事情について」と題して、国際機関日本アセアンセンター貿易部長の嶋田正博氏、「リアルタイムのフィリピン」と題して、フィリピン大使館商務オフィサーの棚川稯氏、2日目には「アジアの生産現地と日本のマーケット」と題して、ジェトロ輸入商品発掘専門家の大倉紀子氏による講演が行われ、参加者はアジア地域の生の情報や輸入品の販売におけるポイントなどに耳を傾けておりました。



テントブース



講演会の風景



展示商談会での商品説明



ミャンマーのコテージ

# 「八戸港セミナー」八戸と東京で開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会主催による「八戸港セミナー」が八戸・東京の2会場で開催されました。両会場とも船社、荷主、物流関連企業から多数の方が参加し、八戸港の概要やコンテナサービスについての理解を深めるとともに、八戸港利用に関する情報交換を行いました。

## 「八戸港セミナー in 八戸」

01年10月26日(金) 15:00~19:00

八戸グランドホテル

地元八戸では4年ぶりの開催となるセミナーには船社、企業関係者の他、一般市民も含め160名以上の方が参加しました。

はじめに、日本貿易振興会青森貿易情報センターの田中所長が「青森県の貿易と物流」と題して講演、台湾の概況や日台関係、青森県の貿易状況について説明頂きました。

八戸港の施設概要とコンテナサービスについての説明が終わると、参加者から小口貨物の共同輸送事業に関する質問が集中しました。八戸港に対する関心の高さがうかがえます。



満員のセミナー会場



田中青森貿易情報センター所長による講演



共同輸送事業について質問する参加者

## 「八戸港セミナー in 東京」

01年10月31日(水) 10:30~13:30

KKRホテル東京

例年開催している東京でのセミナーには、首都圏の荷主・物流関係者など約240名が参加しました。

東北大学の徳永助教授から「企業戦略としての地方港活用による物流効率化」と題し、地方港活用のメリットや地方港における貨物量増加のための戦略について講演頂きました。

セミナー終了後の情報交換会では昼食をとりながら和やかな雰囲気の中、参加者・八戸港関係者が八戸港活用についての情報交換を行いました。



徳永東北大学助教授による講演



今回も満員となったセミナー会場



活発に意見交換が行われた情報交換会

## 「東北ポートセールス・首都圏セミナー」開催のお知らせ

東北における港湾の利用を促進するため、東北7県合同でセミナーを開催いたします。セミナーでは基調講演のほか、八戸港をはじめとする東北各港のプレゼンテーションが行われますので、この機会に是非ご参加下さい。

- 日時：**2002年2月15日（金）15:30～19:00  
**場所：**経団連会館（東京都千代田区大手町1-9-4 TEL.03-3279-1411）  
**主催：**「東北ポートセールス・首都圏セミナー」実行委員会  
**内容：**第1部 セミナー 15:30～17:20  
          基調講演、各港プレゼンテーション  
          第2部 情報交換会 17:30～19:00

お問い合わせ：「東北ポートセールス・首都圏セミナー」実行委員会事務局  
                  (社)東北経済連合会産業基盤グループ（TEL.022-799-2105）まで

## 「八戸港セミナーin盛岡」のご案内

八戸港国際物流拠点化推進協議会では八戸港のコンテナ航路サービス状況などを広くPRするため、盛岡市にて八戸港セミナーを開催いたします。セミナーでは八戸港の施設概要や各種サービス内容についての紹介の他、物流についての講演を予定しております。またセミナー終了後の情報交換会では八戸港の利用についてのご相談も承りますので、お気軽にご参加下さい。

- 日時：**2002年2月20日（水）15:00～19:00  
**場所：**ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング（盛岡市盛岡駅前北通2-27 TEL.019-625-6265）  
**内容：**第1部 セミナー 15:00～17:00  
          講演、八戸港紹介など  
          第2部 情報交換会 17:00～19:00

### 申込方法

住所、氏名、会社名、役職、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを明記の上、下記事務局までハガキにてお申し込み下さい。（FAX、電子メールにても受け付けております。）

### 事務局

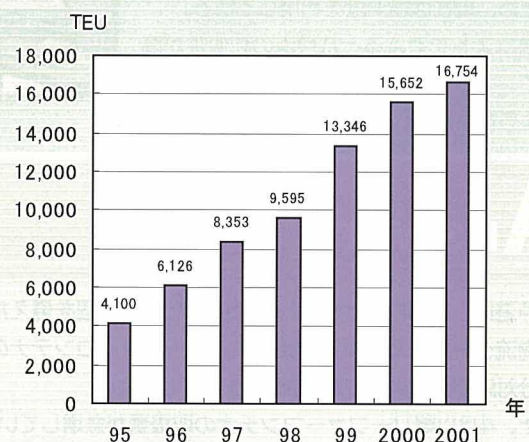
〒031-8686 青森県八戸市内丸1-1-1 八戸港国際物流拠点化推進協議会（八戸市建設部港湾河川課内）  
TEL.0178-43-2111(内線338)、FAX.0178-24-6186、E-mail hppc@hi-net.ne.jp

## 2001年コンテナ貨物取扱量は前年比7.0%増

八戸港のコンテナ貨物取扱量は94年の東南アジア航路開設以来右肩上がりに増加してきたところですが、2001年は前年比7%増の16,754TEU（速報値）を記録する見込みとなりました。

この背景には、北米航路と内航フィーダー航路の取扱量が落ち込んだものの、韓国航路で順調にコンテナ貨物取扱量を増やし（前年比21%増）、八戸港全体の約40%の取扱量を占める航路に成長したこと、昨年4月に多目的国際物流ターミナルが供用されコンテナターミナルの機能が大幅に強化されたことにより、リーファーコンテナ取扱量が輸出で前年より約4倍に増加したことなどが要因として挙げられます。

2002年春からはガントリークレーンが2基体制となることから、荷役作業の効率化が図られ、さらなる貨物量の増加につながるものと期待されます。



# ガントリークレーン2基体制へ

八戸港八太郎1号ふ頭に設置されていたガントリークレーンが、01年11月、同2号ふ頭の「多目的国際物流ターミナル」に移設されました。このクレーンは、ターミナルと同時に新設されたガントリークレーンと並んで設置され、塗装、点検を行った後、本年の春からの稼動が予定されています。新設のクレーンと2基体制になることで荷役作業の一層の効率化が期待されます。

移設されたクレーンは、94年、東北で初の国際コンテナ定期航路となった東南アジア航路の就航と同時に八戸港に設置されました。八戸港ではこの航路の開業以来、韓国航路、北米航路、横浜港との内航フィーダー航路が相次いで開設され、コンテナ貨物取扱量も飛躍的に伸びており、ガントリークレーンの重要性が増してきています。このような中で、今までの1基体制のもとでは、故障や点検作業の際には荷役作業ができない状況が発生していましたが、2基体制になることで継続した荷役作業が可能となり、八戸港の利便性が向上します。

写真を撮影した日（01年11月27日）の早朝には雪が積もっていましたが、入港していたコンテナ船からは、融雪剤がコンテナで40数本降ろされていました。



稼動向け塗装作業が進むガントリークレーン

また、近くで見るクレーンは巨大で、その大きさに圧倒されました。同ターミナルの担当者によると、「日が落ちて、ライトが点灯された中で荷役作業はされいだ。」ということで、機会があれば、ライトアップされたその美しい姿を撮影しようと思います。

## 八戸港 Q&A コーナー

### Question

青森県 水産業

以前八戸港を利用して水産物を輸入したが、リーファーコンテナの順番待ちで入荷が遅れることがしばしばあり、急いでいる時は困るため、現在は横浜港を利用している。

輸送コストを考えると八戸港の利便性が高いので、できれば利用したいのだが、現在はどうのような状況か。



### Answer

八戸港は、01年4月からリーファープラグ50個を備えた多目的国際物流ターミナルが供用開始され、リーファーコンテナの使用にも十分対応できるようになりました。

また、4月以降リーファーコンテナの取扱量が急増しているため、リーファープラグの増設も検討しております。

今後ともより良いサービスが提供できるよう努力して参りますので、食品等の輸出入にも是非八戸港をご利用下さい。

### Question

岩手県 製造業

当社は首都圏の港湾を利用しているのですが、八戸港を利用するメリットはなんですか。

### Answer

輸送コストで一番高いのがトラックによる陸送分です。八戸港の利用により陸送距離の短縮が可能となるため、全体としては輸送コストの削減になります。また、八戸港で通関・検査を行うことにより、通関時間の短縮や品質管理の向上を可能にします。

八戸港国際物流拠点化推進協議会では八戸港に関するご質問等をお待ちしております。

ご質問、ご要望等がありましたら遠慮なくお問い合わせください。

# ●海外物産展のご案内●

主催・お問合せ：(社)青森県物産協会  
(電話：017-734-9370)

(社)青森県物産協会では、県産品の海外販路の開拓と、県内企業の貿易活動を活性化することを目的に、2001年度からシンガポール、香港等で青森県物産展「青森ジャパンフェア」を開催しております。

その結果、海外物産展への出展が契機となり、その後大規模かつ継続的な取引に結びついた事例も見られるなど、確実に県内企業の国際展開のお手伝いをして参りました。

2001年度においては、次のとおり開催しますので、商品の出展を希望される方は、お気軽にご相談ください。



開催国	会期	開催店舗	備考
台湾(高雄市)	01年11月23日-12月4日	大立伊勢丹	(終了)
シンガポール	02年1月10日-20日	カルフルシンガポール サンテックシティ店	初めての外資系店 での開催
マレーシア (クアラルンプール)	02年1月26日-2月3日	伊勢丹クアラルンプール KLCC店	2回目の開催
中華人民共和国(香港)	02年1月31日-2月11日	シティスーパー タイムズスクエア店	6回目の開催
タイ(バンコク)	02年2月8日-17日	サイアムジャスコ ラチャダ店、スクンビット店	初めての開催

## 特許庁委託JETRO海外工業所有権情報

企業の皆様が、海外において事業を展開していく前提として商標、意匠、特許等の知的財産権が国内のみならず投資先においても適切に保護されることが、不可欠となっております。

ジェットロでは、アジア各国で工業所有権を専門とする弁護士と契約し、現在の工業所有権事情に関する情報収集・提供や、現地進出日系企業へのアドバイス提供を行っております。

また、特許庁からの委託により、知的財産権制度に不備の残るアジア太平洋地域11都市において、弁護士と契約し、工業所有権に関する無料相談の実施や、現地進出日系企業を対象にしたセミナーを開催し、情報提供を行っております。

## ジェットロ刊行物

- ①「海外における模倣対策ニュース 第3号～海外法律事務所の報告から～」
- ②「工業所有権に関する動向(シンガポール、マレーシア、タイ)」
- ③「模倣対策マニュアル インドネシア編」
- ④「インドネシアの工業所有権侵害 警察の取締り事例」
- ⑤「模倣対策マニュアル 韓国編」
- ⑥「韓国の工業所有権 侵害事例・判例集」
- ⑦「模倣対策マニュアル シンガポール編」
- ⑧「タイの税関の役割」
- ⑨「模倣対策マニュアル 中国編」
- ⑩「中国の工業所有権 侵害判例集」
- ⑪「ベトナムにおける模倣品流通の実態」
- ⑫「ベトナムの工業所有権に関する動向」
- ⑬「模倣対策マニュアル ベトナム編」
- ⑭「マレーシアのエンフォースメント機関の実態」

\*いずれも2001年3月発行。

①のみ(財)交流協会と共同発行です。

各冊とも(株)八戸港貿易センターにて入手したので、閲覧希望の方はご連絡ください。

## 解説

「工業所有権」とは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権の総称であり、新技術、新しいデザイン、商標などについて独占権を与え、模倣防止のための保護、研究開発へのインセンティブ付与、取引上の信用維持を目的としています。

# 八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2002年1月現在、海外在住（タコマ、香港、マニラ、バンコク、シンガポール、ブリスベン）の6名を「八戸市海外経済協力員」に委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂くことになっています。

八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっていますので、ご希望の方は八戸市建設部港湾河川課（TEL0178-43-2111 内線338）までご連絡ください。

また、八戸市ホームページにて協力員制度の紹介をしておりますので、ご参照ください。  
(市ホームページアドレス [www.city.hachinohe.aomori.jp](http://www.city.hachinohe.aomori.jp))

## REPORT1 ブリスベンの紹介 Brisbane



ブリスベン市庁都市経営局  
上席都市環境専門官  
慶長 寿彰さん

ふるさと八戸の皆さんこんにちは。世界銀行から豪州ブリスベン市へ出向している慶長です。ブリスベンは、シドニー、メルボルンに次ぐ豪州第3の都市で、クイーンズランド州の州都です。ブリスベンの現在の人口は90万人弱ですが、亜熱帯という気候と、お隣ゴールドコーストをはじめ数々のリゾート地に近いという地の利を背景に、近年豪州内外からの移民者が増加し、急成長を続けています。産業は、観光産業とサービス業が主ですが、最近では産業の多様化を目指して、IT産業やバイオテクノロジー産業の誘致に動いています。「サンシャイン・ステート（太陽光の州）」から「スマート・ステート（洗練された州）」へ、という州政府のスローガンの変更が、それを端的に表しています。

最初は驚いたんですが、ここブリスベンの日本食屋さんでは「八戸のイカ」が食べられるんです。八戸から冷凍されて輸出されているのです。板前さんに「八戸のイカ」のパッケージを見せてもらったところ、「Packed by Maruyo Suisan Hachinohe ; Imported by Jun Pacific」となっていました。要するに、八戸の「マルヨ水産」で冷凍・梱包されて、豪州のシドニーにある「Jun Pacific (ジュン・パシフィック)」という会社が輸入したということです。豪州の日本食屋さんでは、さすがに日本に比べたら「ネタ」の種類が少ないです。ですから、このように「イカ」の輸出経路が確立されているということは、八戸からの水産品の豪州への輸出拡大の可能性があるというこ

とではないでしょうか。何かお役に立てることがありましたら、遠慮なくお申し付けください。その他ブリスベンでの生活や仕事については、私のホームページをご覧いただくと幸いです。  
([www.rimnesia.net/home/keicho](http://www.rimnesia.net/home/keicho))

## REPORT2 マニラの紹介 Manila



株アндеス・アイオニクス  
副社長ゼネラルマネージャー  
細川 進さん

今回はフィリピンでのIT事情を簡単にレポートしたいと思います。日本国でも前総理大臣様の発令で「IT元年」を何らかの方法で皆様もご利用されると思います。例えば携帯電話のiモードからのインターネット接続や、メール交換等のものが有ると思いますが、ここフィリピンも数年の間に携帯電話の普及率が一般家庭固定式を超越しているのが現状です。特にプリペイド式（カード購入による定額予算通話可能タイプ）が大半を占めていると言っても過言ではありません。フィリピンは日本に比べ、所得水準が非常に低く、月額基本料金すら払えない人が沢山いる為です。そう言った環境から、お金の有る時に一定額の通話料金カード（日本のテレホンカードに類似したもの）を購入している人が大半です。また便利な事に利用金額が無くなっても着信は出来る事が一般にうけていると思います。また、日本でもMail送信費用は定額だと思いますが、前述理由等からテキストと通常呼ばれるテキストファイル形式のMail交換が盛んです。選挙活動の応援内容が飛びこんで来たり、私達日本人登録企業へは緊急連絡方法の一つにも使用されたりと、正しい

使われ方も犯罪的に使われ方もしているのが現状です。

コンピューター機器はどうしても高額になるため、政府機関や大手企業には大量に使われておりますが、私達の会社の様な中小企業や学校施設等には最低限の必要機器しか据付られていないのが現状です。よって新規学卒者でも中途採用者でも『コンピューター知識有』や『WINDOWS操作・プログラミング経験有』といった様な履歴書記載がされていても、7割以上の人が初心者と言っても過言ではないのが現状です。しかしながらその反面、特殊なウィルスプログラムを作成し、アメリカからFBIの捜査が入ったりする様なレベルのスキルを持った人達もいるのが現状です。

一般の人達の利用方法としては写真の様な、インターネットカフェで興味のあるサイトへつないだり、自分の希望するような就職情報を入手しているのが現状で、各所得水準層によってカフェスタイルや街角時間限定インターネットショップを利用している現状です。特に田舎の方に行くと、このインターネットショップでお金儲けしようと思い、各プロバイダーと代理店契約し、独立しようという若者が出てきているのが最近の状況です。各種報道でご存知かとは思いますが、現フィリピン大統領もIT推進を発表し活動しております。ここ数年で日本及び東南アジア諸国と同等のレベルになる日も近いのではと思ひ赴任生活を送っております。

シンガポール在住の日本人の数は意外に多く、淡路島ほどの広さに2万3千人(2000年10月)ほど居住しています。シンガポールの外国人も含めた総人口は402万人であり約180人に1人が日本人ということになります。さらに、年間100万人もの日本人観光客が当地を訪れており、街中ではよく日本人を見かけることとなります。

これほど日本人が多いのは、シンガポールがアジアのハブとなっており多くの日系企業が進出してきているためです。シンガポールの日系企業数は2,847社(2000年)にも上り、そのうち日本商工会議所会員数はバンコクに次いで世界2番目の約800社となります。

当地に進出してきている企業は、機械、金属、エンジニアリング、繊維、化学、食品、硝子、ゴム、ガス、石油、セメント、印刷、紙、塗料、電機、電子、商社、保険、証券、リース、建設、設計、海運、陸運、航空貨物、倉庫、海事検定、通信、ホテル、旅行・観光、百貨店・スーパー、小売、レストラン、新聞、自治体事務所、会計事務所、人材派遣、レストラン、広告、不動産、警備、コンサルタントと多岐にわたっています。

シンガポールでは食料品から衣料品、家電、書籍、CDなど大半の日本製品が手に入るとともに日本のドラマが放映されており、かなり日本文化が浸透しています。若者達は日本のファッション、音楽、ドラマに夢中になり、寿司をはじめとする和食は子どもからお年寄りまで広く好まれています。日系デパートの食料品売り場では八戸の水産加工品をはじめとする青森県産の食品も手に入ります。近年、日本は輸入相手国のトップであり、シンガポールの大事なパートナーです。現在、二国間では自由貿易協定締結に向けて協議が行われていますが、締結後は八戸港の役割が増すものと期待します。

## REPORT3 シンガポールの紹介 Singapore



KDDIテレコメット(株)  
ディレクター  
佐々木 康宏さん

シンガポールの伊勢丹デパート

## ～ジェットロ青森所長からのご挨拶～

〒030-0822 青森県青森市中央一丁目23-5明治生命青森中央ビル7階  
日本貿易振興会青森貿易情報センター

TEL：017-734-2575 FAX：017-773-2877

Japan External Trade Organization (www.jetro.go.jp)

ジェットロ青森貿易情報センター

所長 **田中 利男氏**



台湾での3年間の駐在を終え、青森に赴任して3ヶ月が経過して、青森の寒さと雪に徐々に慣れてきました。

青森と台湾の関係はきわめて深く、青森りんごは特別に輸入が許可されていて、台湾のほとんどの人が青森県はどこにあるか知らなくても、おいしい青森りんごのことは知っています。

台湾と青森の共通点といえば、新幹線の工事が進捗していること、果物がおいしいこと(台湾はスイカやマンゴーが特においしい)、温泉が多いことがあげられます。最近、台湾では温泉ブームになっていて、温泉を観光の目玉にしようという地域も出てきています。これは、日本にたくさんの人が旅行して温泉の良さを認識したためです。

貿易面を見ても青森の最大の輸出先は台湾で、八戸港から直行便がありフェロニッケルだけで130億円が輸出されています。

私が青森に来て感じたのは製造業が低迷していること、国際交流が進展していること、行政機関や企業が他県以上に輸出努力をしていることでした。

青森の貿易額は東北で2位となっていますが、製造業出荷額は山形県の半分以下の1兆35百万円で最下位となっています。製造業の中では食料品の割合が高く、24.2%を占めています。



ジェットロ輸入品展示商談会  
(八戸市にて)

国際交流を見てみますと、八戸港はマニラ港と姉妹港提携をしているほか、各市町村レベルでさまざまな交流を実施しているようです。昨年はテロの影響でこれらの交流が中止になったという報道が相次ぎました。特に子供たちの交流が中止になったのが残念です。

輸出努力という面では毎年シンガポール、マレーシア、タイ、台湾、香港で県の物産展を開催されていますが、他県の物産展と比べてかなり高い実績をあげているようです。

私どもジェットロでは貿易や投資の促進などを主眼とした各種セミナーや情報提供等を実施しています。

今年は特にWTO加盟後注目されている中国や台湾についてのセミナーや輸入住宅セミナー、海外の農林水産業に関するセミナー、貿易実務セミナーなどを実施することにより県内企業の貿易や企業経営の拡大、さらには八戸港などの利用拡大に少しでも役に立てばと思っています。

また、クリスタルバレーなど青森の工業団地について海外に積極的にPRするとともに、輸出品目としてホタテに重点をおきたいと考えます。ホタテは過去ヨーロッパに数十億円規模で輸出された実績があり、これを復活するために県などと連携してタイを中心とするアジアやフランスを中心とするEUへの輸出拡大のために尽力する所存です。



毎年開催されている  
ジェットロ主催の貿易実務講座





## 「輸入住宅セミナー」開催のおしらせ

ジェトロ青森貿易情報センターと八戸輸入住宅促進協議会では、輸入住宅に関わる方を主な対象に標記セミナーを開催いたします。著名な講師による講演ですので、輸入住宅、ツーバイフォー工法等にご関心のある方の参加をお待ちしています。

日時：2002年1月21日（月）午後1時30分～4時30分

会場：ユートリー8階中ホール（JR八戸駅前）

講師：・特定非営利活動法人 住宅生産性研究会 理事長 戸谷英世 氏  
「今何故、再び『輸入住宅』なのか」-サステイナブルハウスの到達点-  
(内容) 低コスト体質の北米住宅産業

・セルコホーム株式会社 代表取締役社長 新本恭雄 氏  
「カナダで生まれて東北で育った輸入住宅」  
(内容) 事業の失敗とその転機、輸入住宅—高品質・安価の秘密

主催：日本貿易振興会青森貿易情報センター、八戸輸入住宅促進協議会

定員：60名（申込先着順とします）

参加費：無料

お申込み

お問合先：八戸輸入住宅促進協議会



## 「Time for Aomori」～青森県内企業・商品情報～ [www://trade.prep.aomori.jp](http://www://trade.prep.aomori.jp)

青森県では、県内外において貿易活動を行う方々の一助となるサイトを開設しました。実際に貿易を行うアイテム選びに有用な個々の情報を整理したホームページで、青森県内の住宅関連企業（木材・建材・住宅・造園ガーデニング・家具インテリアなど）も検索できます。新しいライフスタイルづくりやビジネスにご活用ください。

※海外とのコミュニケーションにおける利便性を考慮し、日英併記にしております。

※ホームページのほかに、冊子「Time for Aomori --Aomori Japan Trade Directory」（A4判カラー128ページ）も発行されております。ご希望の方は（株）八戸港貿易センターまでご連絡ください。



### HIHA：八戸輸入住宅促進協議会

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内

Tel：0178-72-1505 Fax：0178-72-1503

[www.hiha.jp](http://www.hiha.jp)

カタログ・資料をご希望の方はHIHA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

### HIHA会員

<住所は全て青森県内です>

	会社名	連絡先住所	電話
1	南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331
2	杜陵ハウス工業株式会社	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-9633
3	株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
4	有限会社ウッドベッカー	八戸市番町7	0178-46-4606
5	株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333
6	丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
7	株式会社黄金工務店	青森市造道二丁目10-17	017-741-8451
8	アテヒ設計建設株式会社	むつ市田名部品ノ木34-12	0175-23-5511
9	三上建設株式会社	青森市中央三丁目11-13	017-723-2771

	会社名	連絡先住所	電話
10	駒井建設株式会社	青森市小柳一丁目19-20	017-741-5167
11	株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
12	株式会社テーオー小笠原	青森市東造道三丁目6-3	017-736-2000
13	株式会社東北産業	五戸町豊間内地蔵平1-865	0178-61-1100
14	株式会社ハシモトホーム	八戸市類家四丁目5-2	0178-71-1700
15	カナディアンホームズ有限会社	十和田市三本木福吉85-106	0176-21-1570
16	有限会社山広産業 住宅部	八戸市一番町一丁目2-22	0178-27-6570
17	株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282

Hachinohe Import Housing Association

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL OOCL	八戸通運 八戸港湾運送	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、高雄)、中国(香港、蛇口)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、欧州、北米、豪州、他
	韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽)、中国(上海、寧波) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/2週	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	横浜港ターミナル(株)	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL : Pacific International Lines (Singapore) OOCL : Orient Overseas Container Line (Hong Kong) WSL : Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	4	3
光陽(韓国)	6	8
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連	9	8
青島	9	8
上海	7	7
天津	9	6
寧波	7	7
蛇口	9	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	16	16
バンコク(タイ)	20	17
レムチャパン(タイ)	15	18
マニラ(フィリピン)	11	14
ホーチミン(ベトナム)	17	16
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	37
ルアーブル(フランス)	30	38
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

新丸港運株式会社の紹介

所在地：〒039-1161八戸市河原木字海岸10-3  
TEL(0178)20-2321 FAX(0178)20-2353

八戸港は昨年4月に「多目的国際物流ターミナル」が供用開始されるなど、港湾施設の整備が着々と進展しており、北東北を代表する国際物流拠点として発展しているところです。

こうした中、1966年10月に「新丸元港運株式会社」として設立された当社は79年1月に「新丸港運株式会社」と改称し現在に至っております。

当社は、八戸港において一般港湾運送事業ならびに港湾荷役事業の免許を得て、船舶の荷役とこれに付帯する作業を行うほか、貨物運送取扱事業、貨物自動車運送事業、倉庫業を行っており、海陸一貫物流の体制を整えております。

豊富な経験と技術を生かし、お客様のご期待にお応えできるよう、努力しているところであります。



編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年八戸港は「多目的国際物流ターミナル」供用開始、「海の祭典」開催など、ハード事業・ソフト事業両面で明るい話題がありましたが、世間では何かと暗い話題が多い1年だったような気がします。今年は干支にちなんで何事もウマク行く年になればいいですね。

スタッフ一同、昨年以上に八戸港でのよりよいサービスが提供できるよう、今年も頑張りますので、どうぞよろしく願います。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
- 新丸港運株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
- 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- 三八五流通株式会社 TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-27-3311 FAX:0178-27-5520
- ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444

青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会  
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市建設部港湾河川課内

TEL:0178-43-2111(代表) FAX:0178-24-6186 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp



本誌創刊50周年記念号とさせていただきます。